

コード	50102
作成年度	26年度

基本事業評価表

基本事業名称	幼児教育の充実
--------	---------

総合計画の位置付け	
政策名称	しまの誇り・文化の育成
施策名称	学校教育の充実

課コード	124	関係課名	こども課
主管課名	学校教育課		

基本事業の目的

幼稚園長や主任等の研修会を積極的に開催し、職員の資質の向上を図るとともに、幼・保・小連携事業などを推進することで幼児教育の充実発展を図ることを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	主任研修会参加者	成果指標名称 2	幼稚園公開保育研修会
成果指標の積算根拠	研修会参加者数÷対象者数	成果指標の積算根拠	実施回数÷研修会計画回数
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度
目標達成数値	14人	目標達成数値	2回

年		度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成果指標 1	目標 A	単位	人	32	18	15	14	14
	実績 B		人	32	18	15	14	-
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	100.0	100.0	
成果指標 2	目標 A	単位	回	2	2	2	2	2
	実績 B		回	2	2	2	2	-
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	100.0	100.0	

1次評価	現状	幼児教育の充実発展のため、幼稚園主任等の研修会を実施している。また、幼・保・小連携（交流活動）事業を通して幼稚園や保育所から小学校への円滑な進学がなされている。
	課題	園児数及び園数が減少していく中、各幼稚園の特色を鮮明にし、研修会を通して充実した幼児教育を推進していく必要がある。また、今後の国及び県の幼児教育方針の動向を見ながら、関係各課と連携を図り、幼稚園と保育所の一元化に向けた取組を検討していく。
	改善	幼稚園と保育所の一元化が進む中、新たな研修会を設け、幼稚園教諭及び保育士が連携、交流しながら幼児教育の充実を図っていかねばならない。

2次評価	子どもたちが減少していく中で、幼児の望ましい成長・発達に応じた教育内容の充実を図るため、多様な人材を活用しながら家庭、地域社会、保育所、幼稚園、小学校、関係部署、関係機関との連携を進め、家庭教育を支援するとともに、幼児期の育ちを支えていくこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	501020106	通園費補助事業	学校教育課	303千円	(途中) このまま事業を継続
2	501020201	幼稚園耐震化・大規模改造事業	学校教育課	-	(途中) このまま事業を継続
3	501020401	国公立幼稚園協会研究大会補助事業	学校教育課	100千円	(途中) このまま事業を継続
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				403千円	